

交渉の議事要旨

(開催日時)

平成25年3月27日(水) 16:00~16:35(35分)

(開催場所)

稚内開発建設部 1階 共用会議室

(出席者)

当局側(稚内開発建設部)

阿部 浩二(稚内開発建設部次長(総務))、注畑 正幸(総務課長)、
佐藤賢一(総務課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合稚内支部)

斉藤 秀次(副執行委員長)、加藤 元基(書記長)、高橋 和之(執行委員)

(議題)

- 1 当部における超過勤務の縮減について
- 2 当部における職員の健康管理について

(要求書に対する回答)

要求書のうち、取り決めた交渉議題について回答(別紙のとおり)。

(交渉概要)

【議題1: 当部における超過勤務の縮減について】

(職員団体) 職場では慢性的に超過勤務が行われているが、このような状況を当局としてどう認識しているのか。

(当局) 今年度において、第3四半期以降は補正予算の執行、暴風雪に伴う夜間の対応のため超過勤務が増加傾向にあり、一人一月あたりの平均超過勤務時間数は、前年度同時期と比較し、事務部門・技術部門ともに増加している。

(職員団体) 超過勤務の増加には、定員削減が影響していると考えているが、一方で、有効な縮減方策が講じられていないことも事実である。実効ある超過勤務縮減対策を求める。

(当局) 業務量や困難度に応じた適正な業務配分、業務の効率化などを図り、年間を通じて業務の進捗状況を把握しながらきめ細かな進行管理を行い、できる限り超過勤務が少なくなるよう努めていきたい。

(職員団体) 週休日・休日出勤の実態如何。また、週休日・休日に庁舎出入簿に私用と記入して実際には仕事をしている職員もいると聞くが、当局としてはどのような指導をしているのか。

(当局) 今年度における週休日・休日出勤者数は、前年度同時期と比較して減少している。

なお、公務にもかかわらず、庁舎出入簿に私用と記入することのないよう指導するとともに、休日等にやむを得ず業務を行う場合は、その必要性や業務内容を事前に届け出るよう、管理者及び職員へ指導を図っているところである。

【議題2: 当部における職員の健康管理について】

(職員団体) 今年度における臨時の健康診断の実施状況如何。

(当局) 今年度における長時間の超過勤務に係る臨時の健康診断の受診率は、昨年同様100%となっている。

なお、長時間の超過勤務を行った職員に対する面接指導については、目的・趣旨等を周知徹底し、受診するよう指導に努めていくとともに、受診しやすい環境の整備に努めていきたい。

(職員団体) メンタル系疾患からの職場復帰に当たり、当局としてはどのような取組を行っているのか。

(当局) 心の不調が原因で長期間職場を離れた職員の職場復帰に当たっては、特に健康管理医との連携を図り、人事院の指針に沿った職場復帰支援策を実施しているところである。

※文責は稚内開発建設部当局（今後修正があり得る）

交渉議題に係る回答メモ

(2013年統一要求)

平成25年3月27日

1. 当部における超過勤務の縮減について

超過勤務の縮減については、当局としても重要な課題であると考えている。

本来、業務は勤務時間内で処理することが望ましいと考えるが、業務の性質や時期によっては、超過勤務が避けられない場合がある。

当局としては、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行など、超過勤務の縮減に努めてきたところである。

また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、きめ細かな業務の進行管理に努めるよう、管理者を指導していきたい。

2. 当部における職員の健康安全管理について

健康安全管理は、職員が職務を遂行する上で重要な問題であると認識しており、当局としては、健康安全管理計画に基づき、各種の健康安全教育のほか、定期健康診断等による健康管理、職場の安全点検等による安全管理を計画的に推進し、職員の健康の保持増進と安全管理を図っているところである。

平成25年度の計画においては、昨年度に引き続き、生活習慣病対策、長時間の超過勤務を行った職員の健康管理、公務上災害の防止及び心の健康づくりの4つを重点に取り組むこととしている。

また、計画作成に際しては、広く職員の意見等を聴いているところである。

なお、心の健康づくりについては、カウンセラーや健康管理医（精神科医）による心の健康相談の活用や管理者に対するメンタルヘルス教育の徹底を図り、予防に努めるとともに、人事院の指針に沿った円滑な職場復帰支援策を進めていく考えである。